



急激な人口減少でも **子どもの今と未来を守る町づくり**を



私が取り組んでいること

■ 子どもの今と未来をまもる。

こどもの格差を少なくする・学校教育の負担を少なくする・教育(大人の価値観)の押し付け・しつけの暴力を防ぐ・赤ちゃんからの支援をする・町立幼稚園 3年保育を求める・子ども医療費窓口払いの廃止(高校生も)、

■ 女性・若い人・子どもが町づくりで発言できるように！機会をとらえて意見交換しています。

■ 嵐山町の文化・歴史をわかりやすく伝えること議会報で嵐山町 50周年特集号をつくりました。

■ 急激な人口減少・・・税金の使い方を見直す

吉見町大串へのごみ焼却施設建設をやめて、近隣でのごみ処理を働きかけています。

■ 毎議会、予算修正案を提案

(埼玉中部資源循環組合事業費負担金分を減額して、子ども予算に振り替える)を提案しています。

■ 年をとっても障がいがあっても安心して生活できるために・・・買い物・医療・知人と会う移動が負担感なくできる制度を調査中。

■ 焼却ごみゼロへ・・・できることからスタートを

人口減少・・・税金を納める人も少なくなります。

借金の返済で次の世代を苦しめない。税金は生活を豊かにすることに使う。

25年後、嵐山町の人口は今の3分の2に、働く世代は57%に、子どもは半分に65歳以上は同じくらい。



嵐山町の将来人口 (国立社会保障人口問題研究所2018年)

